

学習会 「核融合」って何？

岐阜県土岐市に核融合科学研究所があることをご存じですか？

核融合科学研究所のパンフレットには

- ・「核融合は環境保全と安全確保」に優れている
- ・核融合の資源（重水素とリチウム）は「海水から取り出せる」
- ・「三重の壁で遮蔽します」

などと説明されています。



核融合科学研究所パンフ

一方、核融合科学研究所が進めるようとしている

重水素実験では、放射性物質のトリチウムと中性子線とガンマ線が発生します。発生したトリチウムや中性子線、ガンマ線はどうなるのでしょうか。

原発を電力会社や政府は5重の壁で放射能を漏らさないと説明してきました。しかし、福島原発事故が起こり、事故は収束していません。

「核融合」とは何なのか、一緒に考えましょう。

日 時：2013年2月8日（金）

開始 18:30 ～ 20:30 開場 18:00 ～

会 場：ハートフルスクエア-G 2階 中研修室

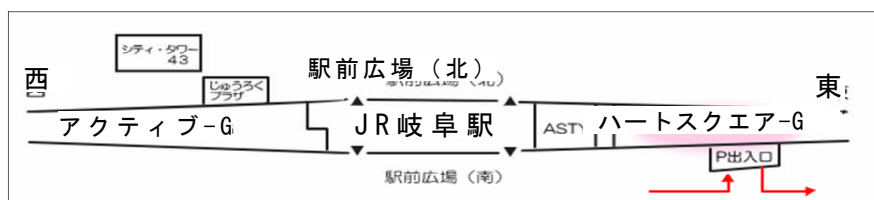
講 師：槌田敦さん

元理化学研究所研究員、前名城大学教授 物理学および環境経済学
「放射能施設は内陸に作るべきではない」と進言したが、名古屋大学プラズマ研究所は無視して土岐市に移転した。

参加費：1000円

会場案内 ハートフルスクエア-G 2階中研修室（JR岐阜駅構内 徒歩3分）

岐阜市生涯学習センター（岐阜市橋本町 1-10-23 TEL058-268-1050）



主催団体：放射能のゴミはいらない！市民ネット・岐阜
連絡先：080-5113-2313 兼松秀代